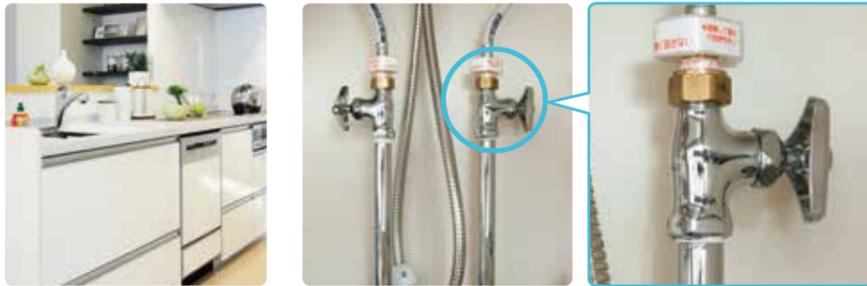
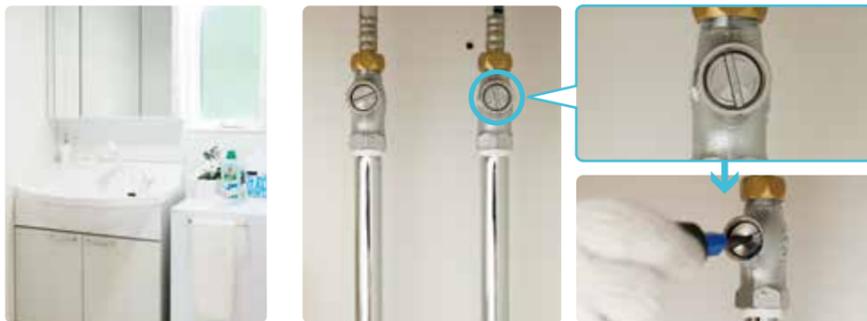


[キッチン止水方法]



- キッチンシンク下のキャビネットを開けるとシンクの真下あたりに止水栓があります。
- 温水と水、両方の止水ハンドルを閉めます(写真のタイプでは、奥に回すと閉まり、手前に回すと開きます)。

[洗面の止水方法]



- 洗面シンク下のキャビネットを開けるとシンクの真下あたりに止水栓があります。
- 温水と水、両方の止水栓を閉めます。
- 止水栓がドライバー式の場合はドライバーを使用します(写真のタイプでは、左に回すと閉まり、右に回すと開きます)。

[トイレの止水方法]

ハンドル(レバー)式



- 便器脇にある止水栓を閉めます(写真のタイプでは、左に回すと閉まり、右に回すと開きます)。

ドライバー式



- 便器脇にある止水栓を閉めます。
- 止水栓がドライバー式の場合はドライバーを使用します(写真のタイプでは、左に回すと閉まり、右に回すと開きます)。

いざという時の水の止め方

水の止め方をご存知ですか? いざという時に
対処できるよう、自宅の設備の水の止め方を確認しましょう。

止水栓には、故障時や災害時に水を止めたり、水勢を調節する重要な役割があります。ご自宅の止水栓がドライバー式なのか、ハンドル(レバー)式なのか確認して、実際に水を止めてみる操作をしてみましょう。また経年変化で栓が固くなったり、サビる事もありますので汚れやホコリ等を取ったりして、長くキレイを保つ事も大切です。

※様々な設備タイプがありますので、ご使用前に必ず、製品の取扱説明書および注意事項をお読みください。

PROFILE
[技術監修]

トヨタホーム アフターサービス担当
DIYアドバイザー

植月 英貴

生活に必要な大切な水ですが、緊急時には「まず水を止める」事が肝心です。特にトイレのトラブル時にはあわてず、まず水を止めましょう。止水栓が固くなっている場合もありますので定期的なチェックをおすすめします。



[水を使用する主な場所]



止水栓の主な種類

ドライバー式



ハンドル(レバー)式



水漏れを調べるセルフチェック方法

水道料金がいつもより高かったり、おかしいと思ったら、
敷地内にある量水器ボックスを正しく利用して水漏れをチェック!

[水漏れを調べます]

- 1 左ページを参照に、キッチン、洗面、トイレ等の止水栓を全て閉めます。
- 2 止水栓を閉めたにもかかわらず、Aの水道メーター(パイロット)の計測カウンターが動いているようなら水漏れをしている可能性があります。(建物内の配管に異常がある場合もあります)
- 3 Bの水道の開閉ハンドルを閉め、水漏れを止めます。
- 4 水漏れを発見しても原因がわからない場合は、ご担当のトヨタホーム店へご相談下さい。

